

寛聚院見学

宮坂幸夫先生

実施日：令和4年6月13日（月）



寛聚院は、保科五無齋先生が下宿をしていた場所で、そこを管理されている宮坂幸夫先生にご講義をいただいた。寛聚院の外観や庭は趣ある雰囲気漂い歴史を感じさせるものであり、五無齋先生が下宿していた当時の雰囲気を感じることができた。また室内には五無齋先生の歌なども飾ってあった。

後半は宮坂先生が行っている農業体験の受け入れの様子や自給自足の生活についてのお話を頂戴した。また自作のお米や味噌もお土産にいただき、農業の楽しさや人とのつながりについても教えていただいた。その他高校生へのメッセージとして、「自分の意見を主張すること」や「チャレンジすることの大切さ」などを伝えていただいた。

【生徒の授業日誌より】

・宮坂先生は蓼科高校のために桜を頼んでくれて、蓼科高校への愛が強い方だと思いました。保科百助先生はすごい先生であり、校長先生になるきっかけをもっと詳しく知りたくなりました。

・自分でご飯を作るとき、野菜も自分で作り、味噌とかも自分で作っていて、すごい努力だなと思いました。自分で作るご飯は手がかかるから大変だけど、すごくおいしいよということを改めて知れました。自分で野菜を作ったりしてじぶんでなるべくご飯を作るようにしたいなと思いました。

・宮坂先生は全体的にポジティブに考えたりしていてすごいなと思った。私はあまりポジティブな発言ができないけど、これからは少しずつ発言をポジティブにしていきたい。自分の考えを発信して、周りや自分を伸ばせるように頑張っていきたい。

・悪口を言う事は自分の性格が表される、相手に腹を見せることと同じだという言葉が心に残りました。議論など口で発信していくことを学びました。声を出して活動していくことが大事で、言い訳は「うそ」が混じる。そして、自分で自炊などをできるようにになりたいと思いました。

・今の私と宮坂先生の生き方には大きな違いがあるが、参考になることがあった。特に「自分の意見は発信しよう」ということが心に残りました。あとビンのコーラはいつものコーラとは違う格別のおいしさでした。